



農業女子座談会

ぐんまで輝く農業女子のみなさんに「ホンネ」で語っていただきました



農業を始めたキッカケは？

高妻さん 小さい頃から動物が好きだったんです。東京農業大学に進学後、研究室で動物介在療法について学ぶ中で、馬や牛など大きな動物のお世話に魅力を感じました。それと、自然を感じながら屋外で仕事かしたと思ったことですね。

村西さん 大学生の当時、付き合っていた夫が農業をしたいと言ったのが一番のキッカケですね。ただ、私自身も自然に寄り添う生活に常々憧れていて…。大学卒業後、青年海外協力隊に参加して途上国の農業を体験したりしました。

根岸(佳)さん 私は「後継者」なのですが、当の本人は家業を継ぐ気があまりなくて…(笑)。大学生のときにお付き合いしていた夫から「バラの栽培がしたい」と言われたのが始まりですね。

根岸(聡)さん 夫の実家が農家だったので、後継ぎとして夫婦で就農しました。ただ、結婚してすぐ子どもが出来たので、私自身が本格的に農業を始めたのは5年後でした。

松本さん 私も根岸さんと同じ「結婚就農」です。夫の実家がトマトのハウス農家だったのですが、結婚当初は農家を継ぐ予定はなく、私も夫も会社勤めをしていたんです。次女を出産した後くらいですね。夫から「実家を継ぎたい」と言われ、現在に至っています。

岩田さん 実家は代々続く農家ですが、農家になるもかと思っていたら、農家になっていました(笑)。そのキッカケは、建築関係でデザインの

仕事をしていて違和感を覚えたことですね。当時は「スクラップアンドビルド」の時代で、造っては壊し、また造るというのが当たり前でした。自然に反している気がしましたね。さらに、バックパッカーで途上国を旅したとき、その思いは強くなりました。原点回帰した結果、農業を始めていました。今、とっても充実していますね。常々、幸せを感じています。

農業の魅力や幸せを感じる瞬間は？

村西さん 汗をダラダラ流しながら炎天下で農作業していて、気持ち良い風が体を通り抜けたときですね。「イェイ！私生きてー！」って感じちゃいます。自然をひとり占めしている気分になりますね(笑)。あとは、旦那さんと畑と一緒に作業しながら、色々な話しをできることですね。

松本さん 私も同じです！まさに自然をひとり占めですね。あとは、会社員時代より、はるかに交友関係が広がったことですね。農業をやるようになって、色々な人と知り合えるようになりました。それと、人伝に娘が「とまとやを継ぎたい」と言っているのを聞いたときですね。私がやっている事に魅力を感じてくれたんだと思い、本当にうれしくなりました！

高妻さん 群馬は本当に自然が豊かですよ。私が働いている牧場は昭和村にあるのですが、景色が綺麗で日頃から癒されています。夜には満天の星空も見えますよ。

根岸(聡)さん そうそう！星が本当に綺麗なんです。私は東京生まれ・東京育ちなので、空の広さを特に実感しますね。最近、カメラが趣味なので、星空を撮りたいなと思っているんですよ。この綺麗さをブログなどにアップして、色々な人とその感動を共有したいですね。あと、野菜を直売所で販売しているため、お客様の声を直に聞けることがあって、「あなたの野菜が美味しいから買っているのよ」と言ってもらえた時は本当にうれしいですね。やっていて良かったと思えます。

